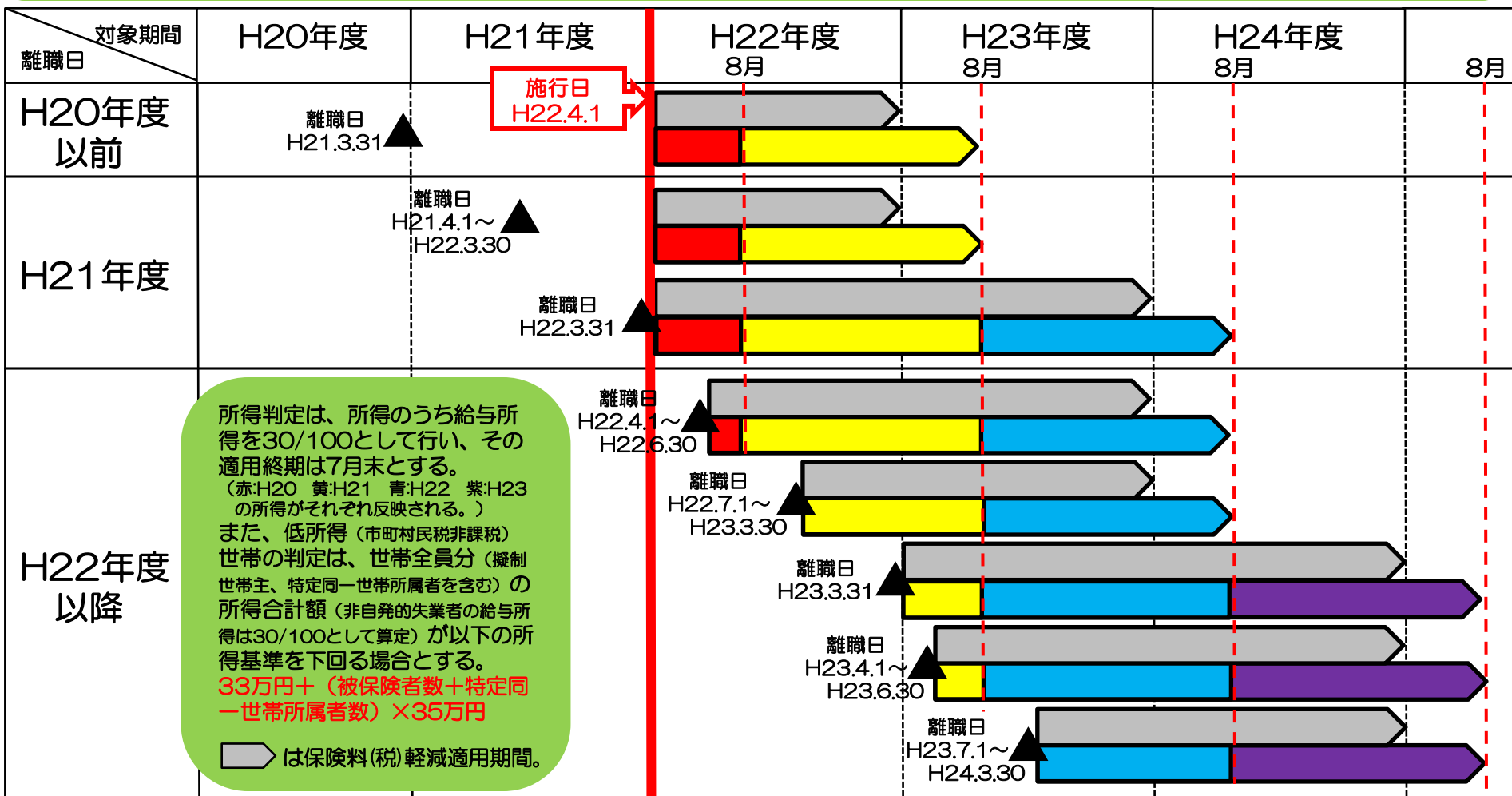


非自発的失業者に係る

高額療養費の所得区分の判定とその適用期間

非自発的失業者に係る高額療養費の所得区分の判定については、
離職日の翌日において所得判定を行い、
その翌月診療分(※)から適用する。



(※) 離職日の翌日が1日であった場合は、その月からの適用となる。

また、社保資格喪失で新たに国保世帯が形成された場合については、保険料(税)軽減が開始される月から適用となる。

(なお、上の図では、社保資格喪失で新たに国保世帯が形成された場合の保険料(税)軽減と高額療養費の所得区分の適用期間を表している。)